

## 環境科学A

〔例題1〕 フロン等の現状に関する次の記述のうち妥当なものはどれか。

1. 特定フロン（クロロフルオロカーボン（CFC）、パーフルオロカーボン（PFC））、ハロン、臭化メチル等の化学物質によって、オゾン層の破壊は今も続いている。
2. オゾン層破壊の結果、地上に到達する有害な赤外線が増加し、皮膚ガンや白内障等の健康被害の発生や、植物の生育の阻害等を引き起こす懸念がある。
3. オゾン層破壊物質は、1989年以降、国際的な規制が行われているが、代表的な物質の一つであるCFC-12の北半球中緯度における大気中濃度は、我が国の観測では減少の兆しが見られない。
4. 国際的に特定フロンからの代替が進むオゾン層を破壊しないものの温室効果の高いガス（いわゆる代替フロン）であるハイドロフルオロカーボン（HFC）の大気中濃度は増加の傾向にある。
5. オゾン全量は、1980年代から1990年代前半にかけて地球規模で大きく減少したが、現在は、1970年代と比較すると多い状態にある。

【正答4】

## 環境科学A

〔例題2〕 「北海道エゾシカ対策推進条例」に関する次の記述について、空欄A～Dに該当する語の組合せとして正しいものはどれか。

この条例は、道内におけるエゾシカの生息数の増加及び生息域の拡大に伴い農林業及び生活環境に係る被害、に及ぼす影響等が深刻化していること、その一方で食関連分野での活用などエゾシカをと捉えた地域産業化の動きが見られること等に鑑み、エゾシカ対策に関し、基本理念を定め、並びに道の責務及び道民等の役割を明らかにするとともに、道の施策の基本となる事項、に影響を与える鉛弾のに関する規制その他必要な事項を定めることにより、エゾシカ対策を総合的かつ計画的に推進し、もってとの適切な関係を築き、地域社会の健全な発展に寄与することを目的とする。

A	B	C	D
1. 陸上生態系	地域資源	販売	エゾシカと自然環境
2. 陸上生態系	自然資源	使用	人とエゾシカ
3. 生物の多様性	地域資源	所持	人とエゾシカ
4. 生物の多様性	自然資源	使用	エゾシカと自然環境
5. 地域交通	地域資源	販売	エゾシカと経済活動

【正答3】